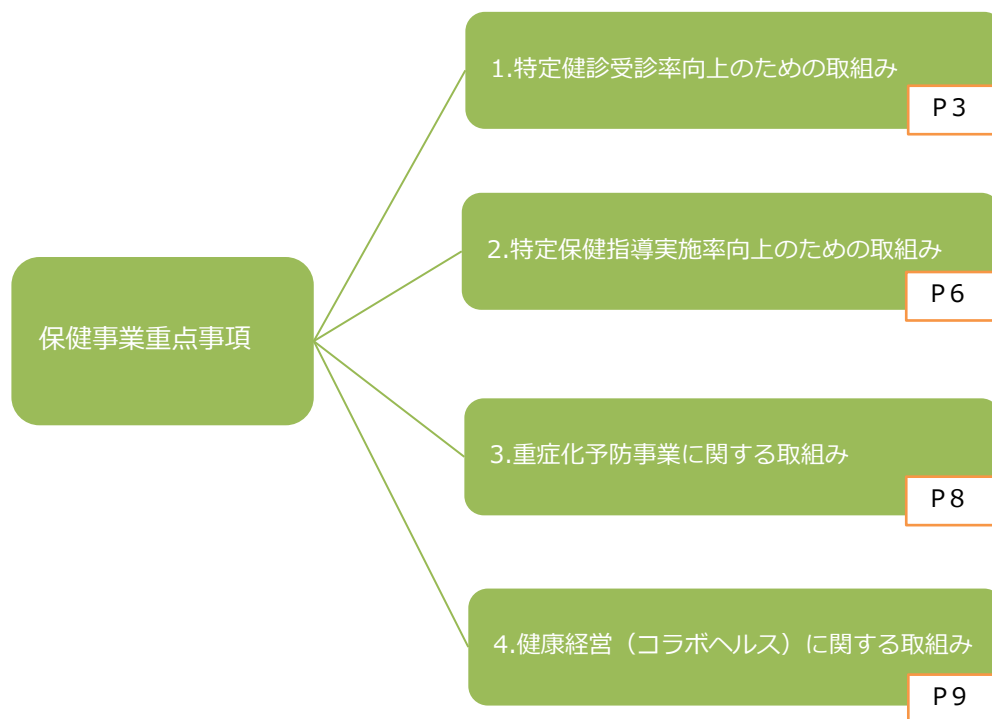


平成30年度宮城支部事業計画実施状況 ～保健事業分のみ抜粋～

30.12.19

《保健事業重点項目》

1. 特定健診受診率向上のための取組み	P 3
2. 特定保健指導実施率向上のための取組み	P 6
3. 重症化予防事業に関する取組み	P 8
4. 健康経営（コラボヘルス）に関する取組み	P 9



平成30年度保健事業の重点事項に関する目標値

30年度事業目標（抜粋）

1. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

○被保険者（受診対象者数： 282,683人）

- ・生活習慣病予防健診 実施率 69.5%（実施見込者数： 196,400人）
- ・事業者健診データ 取得率 7.1%（取得見込者数： 20,000人）

○被扶養者（受診対象者数： 84,604人）

- ・特定健康診査 受診率 35.0%（実施見込者数： 29,600人）

2. 特定保健指導の実施率の向上

○被保険者（指導対象者数： 43,929人）

- ・特定保健指導 実施率 21.5%（実施見込者数： 9,430人）

○被扶養者（指導対象者数： 3,078人）

- ・特定保健指導 実施率 6.2%（実施見込者数： 190人）

3. 重症化予防対策の推進（健診受診後、医療機関へ受診する必要があるが、受診されない方へ受診勧奨をおこなう）

- ・受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した方の割合を11.1%以上

4. 健康経営、コラボヘルスの推進（事業主が主導して健康づくりに取り組む健康経営の形である「職場健康づくり宣言制度」の普及）

- ・登録事業所の被保険者数割合を全被保険者の18.0%（被保険者数： 81,360人）

1. 特定健診受診率向上のための取組み（健診受診率 ※平成30年度は速報値）

実績推移

※「KPI」とは、目標を達成するための指標のこと。
(key Performance Indicatorの略)

				平成29年度 実績	平成30年度 実績 (9月まで)	前年同月比	平成30年度 KPI
健診受診率	被保険者	生活習慣病 予防健診※1	宮城	61.7%	38.5%	1.64%	69.5%
			全国	49.6%	-	-	50.8%
		事業者健診 ※2	宮城	7.9%	3.8%	1.65%	7.1%
			全国	6.4%	-	-	7.1%
	被扶養者	特定健診	宮城	32.2%	18.2%	-0.2%	35.0%
			全国	23.2%	-	-	25.9%
	合 計		宮城	61.0%	36.8%	2.46%	67.0%
			全国	48.5%	-	-	50.8%

※1・・協会けんぽが健診機関に委託実施する健診。検査内容は概ね「定期健康診断」+「がん検診」。

※2・・事業者が実施する「定期健康診断」。事業者健診のデータは自動的に協会けんぽが受領できないため、法律にもとづき対象事業所にデータ提供の依頼をして同意書を提出いただき、（健診機関からデータを受領し）受診率に反映させる。

1. 特定健診受診率向上のための取組み

① 被保険者

平成30年度の取組み

(1) 生活習慣病予防健診委託医療機関向け報奨金制度（インセンティブ）

平成30年度は、対前年比健診受診率103%を達成および新規適用事業所の受診率向上した健診委託機関において、報奨金（1件あたり1,000円）の支払いを行う事業を実施中。（県内42機関（対前年比7機関増）と契約）

(2) 契約健診機関空白地域での検診車による集合健診（生活習慣病予防健診）の実施

	健診実施地区	延べ健診日数	受診者数
平成28年度	14地区	88日	5,365人
平成29年度	14地区	99日	6,172人



	健診実施地区	延べ健診日数	受診者数
平成30年度 4月～9月	14地区	73日	4,863人

(3) 生活習慣病予防健診委託健診機関の拡充

※年度内残り41日間、実施予定であり7,000人を超える見込み。

契約医療機関数：平成29年度末 61機関 ⇒ 平成30年度からは62機関へ拡大。

※平成30年12月1日現在、7機関と調整中

(4) 新規加入事業所への生活習慣病予防健診の勧奨

新規加入事業所に対して、タイムリーに健診案内を送付することで、健診受診の重要性やメリットを訴え、経年での確実な受診に繋げる。

（30年度4月～9月 1,435事業所へ案内文書を送付）

<参考> 任意継続被保険者（退職後の保険）について、毎週実施。計3,279名へ発送。

(5) 事業者健診データ取得促進にかかる事業所勧奨

- ・宮城県トラック協会の加盟382事業所に対し、同意書取得勧奨を実施し51事業所より同意書取得。
- ・外部委託による同意書取得事業の実施。（約2,500事業所に対し30年11月より実施）

1. 特定健診受診率向上のための取組み

② 被扶養者

平成30年度取組み

(1) 特定健診項目に付加価値を付けた「特定健診プラス・プラスレディース」の提供

特定健診は検査項目が少ないことを踏まえ、各種がん検診項目を健診機関協力のもと、特別価格で被扶養者へ提供。

	特定健診利用人数【A】	特定健診プラス利用人数【※B】	特定健診プラスレディース利用人数【※C】	特定健診プラス・プラスレディース利用率【(B+C)/A】
28年度	6,197人	1,350人	660人	32.4%
29年度	7,128人	1,599人	724人	32.6%
30年度(8月まで)	3,619人	868人	366人	34.1%

※B・・・「特定健診」にレントゲン検査(胸部、胃部)、大腸がん検査等を追加した内容

※C・・・「B」に乳がん検査、子宮頸がん検査を追加した内容

(2) 商業施設を活用した特定健診「まちかど健診」の促進

・「気軽に」「待たせない」「ショッピングの合間に健診」をコンセプトに新たな健診スタイルを提案。

	実施会場(地域)	実施日数	実施人数
28年度	11会場	17日	1,926人
29年度	10会場	19日	2,095人



	実施会場(地域)	実施予定日数
30年度	6会場	18日

(31年2~3月に6会場18日間で実施)

(3) 自治体主催の未受診者健診を活用した受診勧奨

自治体を実施する未受診者健診に合わせて対象者に対して日程等の周知を図る。

	勧奨対象者数	受診者数	実施市町村数
28年度	16,244	1,085人	18
29年度	14,449	1,059人	17



※30年度実施予定市町村数 19か所

	勧奨対象者数	受診者数	実施市町村数
30年度(9月まで)	5,614	453	8

2. 特定保健指導実施率向上のための取組み(保健指導実施結果 ※速報値)

実績推移

※「KPI」とは、目標を達成するための指標のこと。
(key Performance Indicatorの略)

			平成29年度 実績	平成30年度 実績 (速報値 9月まで)	前年同月比	平成30年度 KPI
特定保健 指導	被保険者	宮城	18.7%	10.9%	-0.3%	21.5%
		全国	13.7%	-	-	-
	被扶養者	宮城	4.6%	3.7%	0.7%	6.2%
		全国	4.5%	-	-	-
	合 計	宮城	17.7%	10.5%	-0.3%	20.5%
		全国	13.2%	-	-	14.5%

2. 特定保健指導実施率向上のための主な取り組み

平成30年度の取り組み

①被保険者

(1) 外部委託業者の活用、支部保健指導者の実績向上

- ・ 協会けんぽ保健師、管理栄養士が不在の気仙沼、南三陸、石巻、白石地区事業所の対象者等の特定保健指導を専門事業者に外部委託し、特定保健指導実施率の向上を図る。
- ・ 保健師を1名増員し対応。

(2) 委託医療機関における特定保健指導の実施（健診当日に特定保健指導を実施可能な委託医療機関の拡大）

- ・ 30年度より初回面談に当日分割実施が追加され、一部の健診機関の取り組みが開始し、健診当日実施件数が増加。
- ・ 匿名化した実績を各健診機関へ通知し利用増の協力要請をおこなった。

②被扶養者

(1) 商業施設等を活用した「まちかど健診」を利用した被扶養者の特定保健指導（実施予定）

- ・ まちかど健診を利用し特定保健指導の対象者となった者に対して、平成31年2月まちかど健診会場等にて特定保健指導実施予定。
※参考…平成29年度実績 48名実施 （※28年度より実施）

(2) 保険者協議会主催の集合健診（仙台市）後の特定保健指導

- ・ 仙台市内で実施した集合健診を利用し特定保健指導の対象となった者に対して、公共施設を利用した特定保健指導を実施。
- ・ 初回面談実施者数 （30年度）44名実施

3.重症化予防事業に関する取り組み

平成30年度の取り組み状況・実績推移

健診の結果、高血圧・高血糖で治療が必要にもかかわらず未治療となっている加入者へ医療機関への受診勧奨を実施。

《目標》宮城支部から勧奨する対象者（以下（2））の11.1%が医療機関を受診する

受診勧奨対象者

- ・収縮期血圧160mmHg以上
- ・拡張期血圧100mmHg以上
- ・空腹時血糖126mg/dl以上
- ・HbA1c 6.5%以上
(上記いずれかに該当)

検査結果が より重症域の 加入者

- ・収縮期血圧180mmHg以上
- ・拡張期血圧110mmHg以上
- ・空腹時血糖160mg/dl以上
- ・HbA1c 8.4%以上
(上記いずれかに該当)

(1) 協会けんぽ本部から発送
(文書による勧奨)

(2) 協会けんぽ宮城支部から発送
((1) のうちより重症域の加入者へさらに文書、電話、面談による勧奨)

	30年度 (9月まで)
(1) 本部実施件数	5,594件
(2) 支部実施件数	1,446件

概ねこの件数の11.1%の方に医療機関
へ受診いただく目標になっている

4. 健康経営（コラボヘルス）に関する取組み

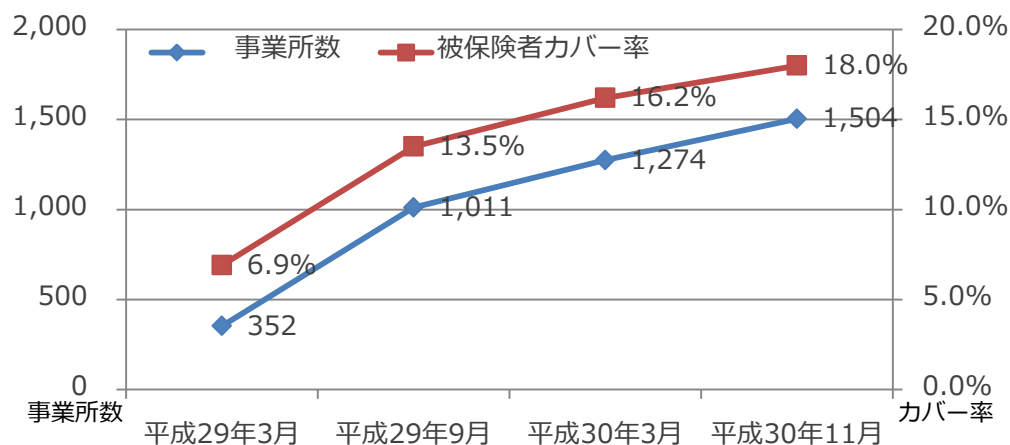
実績推移

【宮城支部 職場健康づくり宣言 事業所数】

宮城支部では健康経営（コラボヘルス）に関する取組みとして、事業所自ら実施する「健康づくりの取組み」を内外に宣言いただく「職場健康づくり宣言」を平成28年9月から実施、支援している。

《目標》登録事業所の被保険者数割合を全被保険者の18.0%とする（被保険者数：81,360人）

《実績》	平成29年3月	平成29年9月	平成30年3月	平成30年11月
事業所数（A）	352事業所	1,011事業所	1,274事業所	1,504事業所
（A）の被保険者数	31,336人	60,944人	73,231人	81,362人
被保険者カバー率 （宮城支部全被保険者数に 占めるBの割合）	6.9%	13.5%	16.2%	18.0%



4. 健康経営（コラボヘルス）に関する取組み

平成30年度の取組み

(1) 職場健康づくり宣言後のサポート体制の確立

宣言後、事業所の取組みが継続できるように定期的にサポートを実施。

- ・（宣言後半年経過）協会けんぽ活用術の提供（各種出前講座やポスター等の啓発資材の案内）
→（29年度下期から延べ）922事業所へ提供
- ・（宣言1年経過）取組み状況を振り返る「チェックシート（※）」、自社健康状況の3年間の推移が把握できる「サポートシート（※）」、他社の取組みを冊子化した「好事例集（※）」を提供（※）「資料1参考資料」参照
→（29年度下期から延べ）1,011事業所へ提供

(2) 「健康経営優良法人」認定取得の案内

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、取引企業などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることを目的としている「健康経営優良法人」（国の認定制度）の認定取得を774事業所に対して勧奨。

なお、平成29年度宮城支部加入事業所から9事業所が認定された。

(3) 中小企業に対する健康経営アンケート実施

宮城県内の中小企業に対してさらに健康経営を普及拡大させるため、河北新報社と共同で健康経営に関する大規模なアンケートを30年10月に実施（対象約5,000事業所）。30年11月末時点で約1,540事業所から回答（回答率30.8%）がありアンケートの解析を東北大学に依頼。回答結果を河北新報に掲載し、健康経営（コラボヘルス）の普及を促進することと、事業所のニーズ等を把握し、更なる取組みを検討する。

(4) 各種セミナーでの「職場健康づくり宣言」の普及促進

経済産業省主催の「健康経営優良法人取得説明会」や宮城県が主催する「スマートみやぎ健民会議」、河北新報社が主催する「健康経営応援キャンペーン」、県内商工会議所、生命保険会社、損害保険会社の「健康経営セミナー」等で「職場健康づくり宣言」の普及促進をおこなった。